

<総計欄> 6月の仕入量は167,053トン前月比+9.3%、前年同月比+1.3%、販売量は169,331トン前月比+9.8%、前年同月比-0.4%。前月比では仕入量・販売量とも増加、前年同月比では仕入量は増加、販売量は微減となりました。在庫量は234,582トン前月比-1.0%、前年同月比+4.9%、在庫量は前月比減少、前年同月比増加しました。在庫率は138.5ポイントと下降しました。

2022年度第1四半期の販売量は490,011トン。前期比+9.7%、前年同期比+3.7%。前期比、前年同期比とも増加しました。前年同期の新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言のあった悪かった時期に比べると回復しています。

6月の販売は稼働日数増で前月比増加しましたが、前年同月比は微減となりました。大型建築物は堅調に推移しています。中小建築物は若干出てきているものの、建築資材の高騰で見直しや延期も出ているようです。スクラップ価格が下落傾向の中、流通における価格転嫁は道半ばで苦慮している状況です。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼5.4%増加、東京10.3%著増、大阪2.8%減少、愛知9.9%減少しました。H形鋼は12.2%著増、東京27.9%著増、大阪4.2%減少、愛知29.2%著増しています。その他品種では山形鋼11.3%著増、溝形鋼15.5%著増、コラム15.6%著増、C形鋼6.9%増加しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼1.5%減少、東京3.6%減少、大阪6.4%減少、愛知5.0%増加しています。H形鋼は0.5%微増、東京1.5%減少、大阪4.6%増加、愛知4.8%減少しています。その他品種は山形鋼2.6%減少、溝形鋼5.7%減少、コラム1.2%増加、C形鋼4.0%増加となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移

